

2018年4月25日

株式会社リクルート住まいカンパニー

SUUMO住みたい街ランキング2018 札幌版 ～住みたい街1位は「さっぽろ」駅～ 「SUUMO」札幌エリアで調査を実施 2位「円山公園」3位「大通」

株式会社リクルート住まいカンパニー（本社：東京都港区 代表取締役社長：浅野 健）は、札幌市に居住している人を対象に実施したWEBアンケート形式による「SUUMO住みたい街ランキング2018 札幌版」を集計しましたので、概要をご報告いたします。

調査トピックス

[札幌]住みたい街（駅）ランキング

順位	駅名（代表的な路線名）	得点
1	さっぽろ（地下鉄南北線）[JR札幌]	284
2	円山公園（地下鉄東西線）	226
3	大通（地下鉄南北線）	177
4	琴似（地下鉄東西線）	135
5	麻生（地下鉄南北線）	90
6	新さっぽろ（地下鉄東西線）[JR新札幌]	81
7	平岸（地下鉄南北線）	65
8	桑園（JR函館本線）	63
9	中島公園（地下鉄南北線）	57
10	北24条（地下鉄南北線）	55
11	西18丁目（地下鉄東西線）	50
12	白石（地下鉄東西線）	45
13	西28丁目（地下鉄東西線）	44
14	宮の沢（地下鉄東西線）	39
15	福住（地下鉄東豊線）	38
		N=407

- 北海道最大の拠点駅「さっぽろ」が1位。閑静な住宅街としても人気が高い「円山公園」が2位。
- 3位は地下鉄3路線が乗り入れる「大通」
- 4位はJRと地下鉄の2路線が走る「琴似」
- 5位は地下鉄南北線の始発駅でバスターミナルやJRの駅も近い「麻生」

※[]内は同一とみなした駅
※複数路線が乗り入れている駅の場合は回答者が当該駅を回答する際に最も多く選ばれた路線を表示

今回2018年調査より、調査方法を一部変更しております。詳細は2ページ「調査概要」を参照ください。

リクルート住まいカンパニーはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにいる、出会い。」を届けていきます

【本件に関するメディア掲載・取材に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート住まいカンパニー 企画統括室 統括部 カンパニー・コミュニケーショングループ
メール：sumai_press@r.recruit.co.jp 電話：03-6835-5290

調査概要

■ 調査方法の変更について ■

住みたい街ランキング調査は、2017年にも実施しましたが、本年の調査では統計の精度を向上させるため、標本抽出方法を「年代（20代+30代：40代）×性別の均等割付」から「年代（20代：30代：40代）×性別の人口分布を基にした割付」に変更いたしました。調査方法を変更しているため、4ページ目の2017年の順位は参考値としてご覧ください。

■ 調査目的 札幌市とその近郊の住みたい街（駅）を明らかにすること。
またその選択理由を把握すること。

■ 調査対象 札幌市在住の20歳～49歳の男女。
平成27年国勢調査の構成に合わせて、性別×年代で割り付けを行い、回収目標を設定。最終回収数を基に集計。

	回収目標数	最終回収数
札幌市：男性：20代	53	53
札幌市：男性：30代	65	65
札幌市：男性：40代	74	74
札幌市：女性：20代	57	57
札幌市：女性：30代	71	74
札幌市：女性：40代	81	84
総計	401	407

■ 調査方法 インターネットによるアンケート調査
※「住みたい駅」の回答は、沿線を選んだ後、駅を選んでもらう選択方式
※「住みたい駅」の対象は、「スーモマガジン札幌」の掲載対象エリアにある駅
掲載対象エリア：札幌市、江別市、北広島市、小樽市、石狩市、千歳市、
空知郡南幌町、石狩郡当別町、石狩郡新篠津村、恵庭市

■ 調査期間 スクリーニング調査：2018年1月25日（木）～1月30日（火）
本調査：2018年1月31日（水）～2月9日（金）
●スクリーニング調査対象数：2384人
●本調査有効回答数：407人

■ 調査実施機関 株式会社マクロミル

<住みたい街ランキング得点の算出方法>

Q. あなたが、今後「住んでみたいと思う街（駅）」はどこですか。

最も住んでみたい街（駅） → 3点

2番目に住んでみたい街（駅） → 2点

3番目に住んでみたい街（駅） → 1点

として上位3つを回答してもらい、
上記ルールにて重み付け配点をしたものを合算してランキングを作成した。

[札幌] 住みたい街(駅) / 住みたい理由 (フリーコメント)

第1位 さっぽろ【札幌】

- ◆ビルなどが多くあり都会で暮らしているという満足感があると思います。もし住めるのなら、高層マンションの最上階に住んでみたいと思わせる場所だと思います (30代男性)
- ◆北海道の都市部として最も栄えており、歓楽街や観光名所が多く、また交通機関も充実しているので、快適な環境のなかで北海道を最大限に堪能できる (20代男性)
- ◆地下鉄南北線・東豊線・JR・バスターミナルと、どこへ行くにも色々な交通手段がある (40代女性)
- ◆カーシェアリングが多く、車を保有しなくてもよい。 (30代女性)
- ◆都心部に必要なものがそろそろ。マンション住まいになると除雪の心配がいらぬ (40代女性)

第2位 円山公園

- ◆高級感がある。動物園や、野球場など、イベント的なものも多く見られる (40代女性)
- ◆JRよりも天候に左右されない地下鉄が良い。美容室やカフェが多いので、休日を有意義に過ごせそう (20代女性)
- ◆車で行くことはよくあるが、細い道にお店があつたりと、歩いてみないと気づかないようなお店が沢山あるので住んで楽しみたい (20代女性)
- ◆おしゃれなマンションが多いので住みたいマンションが見つかりそうだし、レストランやお店が多いから (30代女性)

第3位 大通

- ◆小学校や幼稚園が近くにある。大通公園が近く子どもを遊ばせられるし、イベントが盛ん (30代男性)
- ◆札幌の中心街だけにテレビ塔や大通公園、丸井今井や本屋、美味しい店などありとあらゆる施設が豊富で歩いているだけでも楽しい。地下歩行空間では天候を気にせずさっぽろ駅に向かえたり、その中でも楽しめる施設があり、魅力的じゃない所が一つもない申し分ない場所 (20代男性)
- ◆交通の便が良い。除雪も早い (40代男性)
- ◆街のど真ん中なので車が無くてもどこにでも行ける。雪まつりやビアガーデン等催し物が多く、そのイベントにすぐ行ける (30代男性)

第4位 琴似

- ◆現在住んでいて、とても満足。今までいろいろな地域に暮らしましたが、ここほど暮らしやすい場所は無かった。比較のお年寄りが多いのも、暮らしやすさが理由かもしれません (30代女性)
- ◆札幌の中で、中心部を除けば一番発展している地域だと思うから (20代女性)
- ◆札幌最寄りの快速の止まる駅。JR駅前には100円ショップが3種類あつたり、大きな通りには飲み屋やコンビニが続いていたり、ロードヒーティングがひかれていたり。便利 (30代女性)
- ◆歴史のある街。地下鉄も通っており、繁華街もあり、利便性が高いが、三角山等自然からも近い。新しいものと古いもの、自然と街が程よく入り混じった楽しい街 (40代男性)
- ◆快速も止まるため新千歳空港へのアクセスも便利 (30代女性)

第5位 麻生

- ◆生活がしやすい。ファミリー層が多く、落ち着いている。JRの新琴似駅も近く、交通の便が良い (20代女性)
- ◆とにかくお店が多い、特に飲み屋さんやパン屋さんが多くて大好き (20代女性)
- ◆始発の駅だから必ず座ることができる。コンビニやスーパーなどのお店が多い。高速道路から近い (30代男性)
- ◆駅直結のスーパーがあり、買い物に困らないところが良い (20代女性)
- ◆南北線で、さっぽろ、大通、すすきのなど一つの路線で色々な観光名所に行くことができるから (30代男性)

調査概要

「参考」 昨年（2017年）調査概要

順位	駅名（代表的な路線名）	得点
1位	札幌 [さっぽろ] (JR函館本線)	326
1位	円山公園 (地下鉄東西線)	326
3位	大通 (地下鉄南北線)	200
4位	琴似 (地下鉄東西線)	194
5位	麻生 (地下鉄南北線)	141
6位	新さっぽろ [新札幌] (地下鉄東西線)	116
7位	桑園 (JR函館本線)	103
8位	西28丁目 (地下鉄東西線)	85
9位	福住 (地下鉄東豊線)	75
10位	西18丁目 (地下鉄東西線)	69
11位	平岸 (地下鉄南北線)	66
12位	宮の沢 (地下鉄東西線)	64
13位	中島公園 (地下鉄南北線)	60
14位	北24条 (地下鉄南北線)	57
15位	手稲 (JR函館本線)	53

※〔〕内は同一とみなした駅

N:560

- **調査目的** 札幌市とその近郊の住みたい街（駅）を明らかにすること。またその選択理由を把握すること。
- **調査対象** スクリーニング調査時点で札幌市在住の20歳～49歳の男女。以下のように割り付けた。

性		
20 30代	男性	140
	女性	140
40代	男性	140
	女性	140
		560

- **調査方法** インターネットによるアンケート調査
※「住みたい駅」の回答は、沿線を選んだ後、駅を選んでもらう選択方式
※「住みたい駅」の対象は、「スーモマガジン札幌」の掲載対象エリアにある駅
掲載対象エリア：札幌市、江別市、北広島市、小樽市、石狩市、千歳市、空知郡南幌町、石狩郡当別町、石狩郡新篠津村、恵庭市
- **調査期間** スクリーニング調査：2016年12月26日（月）～2017年1月10日（火）
2017年3月7日（火）～2017年3月9日（木）
本調査：2017年2月20日（月）～2017年2月25日（土）
2017年3月9日（木）～2017年3月11日（土）
 - スクリーニング調査対象数：5,797人
 - 本調査有効回答数：560人
- **調査実施機関** 株式会社マクロミル